
ホラーの日

かあかあからす

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ホラー的日

【Nコード】

N2258D

【作者名】

かあかあからす

【あらすじ】

クマさんの伝記です。もうそれしか言いようがありません。天井が落ちてきたら、たぶん私は壊れます。

クマさんは500円玉につられて穴に落ちました。

その穴は滑り台になっていて、クマさんは下まで滑ってしまいました。

しかし、さすがクマさん。500円玉は死守しました。

滑り台の先が部屋になっています。

クマさんはその部屋にホールインワン。ついでに500円玉も一緒に。

突然、ボタンと音がしました。何事か？クマさんはあたりを見渡します。

なんと、滑り台の終着点と思われる窓が閉じてしまったではありませんか。

これはいかん、と思ったクマさんは、必死に出口を探します。

しかし、壁を叩けば叩くほど、井口の写真しか出てきません。しかも、三振の場面かエラーのときの写真です。

ちくしょーと言わんばかりに、井口の写真を床に叩きつけます。

10枚くらい井口の写真を叩きつけたクマさん。はあはあと息を荒らげながらも、藻い1つのある異変に気づきました。

天井が落ちてきてるではありませんか。

いつの時代の拷問じゃーと叫んだはいいものの、天井は重力に逆らうことなく、いやらしいほど徐々に落ちてきます。

クマさんはある名案をひらめきます。そうだ、つつかえ棒かなんかがあればいいんだ、と。

しかし、あたりにはつつかえ棒のつの字も見当たりせん。あるのは井口の写真だけです。

そしてまた、名案をひらめきます。そうか、井口の写真でタワーを作ればいいんだ。

しかし、それには越えられない壁が存在します。

紙なのでタワーを形成するのが非常に困難で、やっと1段作り終わった頃には天井が床の下に行ってしまう。しかももし出来たとしても紙なので、すぐつぶれてしまいます。

案の定、クマさんは1パーツも作ることが出来ず、井口の写真だけが無残にも、あたりに散らばっているだけです。

しかし、そんなクマさんも1つだけ心の支えがあります。500円玉です。

クマさんは500円玉に、くやひごと名づけました。しかし、くやひごなんて発音できません。

思えばくやひごこそが、ここに誘い込んだ張本人です。

ム力ついたクマさんは、新垣の暴投なみの投球でくやひごを投げました。

くやひごの無機質な音が響きました。

忘れられている天井は、刻一刻と落ちていきます。

自分の死期を感じ取ったクマさん。自分の人生を振り返ろうと思いました。

ふと井口の写真が目に入り、思えば井口と出口一文字違いじゃないと思いました。

はらりとクマさんの頭に何かが落ちます。なんと出口選手の写真ではありませんか。

思えばホークスファンだったと、クマさんは思いました。

おしまい……………

（後書き）

因みに天井が落ちてくるという拷問は実際にありました。今じゃ拷問自体禁止されてますがね。

日常生活の中で天井が落ちてくるなんて事はないので安心してくだ
さい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2258d/>

ホラー的日

2011年1月19日01時29分発行